

COMPANY PROFILE

It is the courage — 重要なのは、続ける勇氣 — *to continue that counts*

私たち、未来社は、デザインを通してお客様の課題を解決し、新しい価値を創造するとともに、屋外広告を通して、社会の経済活動に貢献し、未来を創造し続けます。

COMPANY PROFILE：会社紹介

[代表挨拶]

未来社の理念は、「お客様の未来と一緒に考える」ことです。創業以来、群馬県を中心に、デザインをコアビジネスとして、多分野へサービスを展開してまいりました。2023年に、セイビ堂フループに参加したことで、サイン・デジタルサイネージにより軸足を移し、今まで以上の価値をお客様へ提案してまいります。

私たちセイビ堂グループは…

「驚きと感動あふれる豊かな社会の創造に全力を尽くしてまいります」

代表取締役・CEO 阿部 慎也

[会社概要]

社名	株式会社未来社
所在地	〒370-0874 群馬県高崎市中豊岡町821-1 Pnone : 027-384-2312 Fax : 027-384-2313
創業	1986年2月1日
設立	1989年2月1日
資本金	1,000万円
代表	代表取締役 阿部 慎也
事業内容	屋内外広告物の設計・施工・管理、デジタルサイネージ 販促物の企画・制作・デザイン ホームページの企画・制作
グループ会社	株式会社セイビ堂  レベリック株式会社  株式会社シグラボ 
取引銀行	群馬銀行 豊岡支店 東和銀行 高崎支店

[会社沿革]

1986	高崎市大八木町にて広告代理店 未来社創業
1986	業務拡張のため高崎市下小鳥町に移転
1988	群馬県屋外広告業届出 群証第921号
1989	資本金300万円にて株式会社未来社設立
1989	高崎市箕郷町にサイン部門として箕郷サイン工場設立
1990	業務拡張のため高崎市中豊岡町に移転
1993	資本金400万円に増資
1995	サイン部門と事務所機能の集約のため高崎市緑町に移転
1995	資本金1,000万円に増資
2006	群馬県屋外広告業登録 群広 第0032号
2007	業務拡張のため現在の高崎中豊岡町へ移転
2011	埼玉県屋外広告業登録 埼広 第1228号
2014	兵庫県屋外広告業登録 第1866号
2015	広島県屋外広告業登録 第556号
2022	茨城県屋外広告業登録 第427号
2023	阿部慎也 代表取締役CEOに就任



看板製作：さまざまな角度からより良い看板をご提案

看板を頼みたいが初めてで… まずは何からはじめたらいいの？
こんな看板を考えているのだけど… 値段は？ デザインは？ 納期は？
看板のプロが、豊富な経験を活かし“One Stop Service”で対応いたします。

- 広告塔、ポールサイン、塔屋サイン、ファサードサイン、LEDサイン、袖看板、スタンドサイン、ロードサイン（野建看板）、懸垂幕、横断幕、のぼり旗、A型看板、立て看板、店舗用テント
- 案内サイン、誘導サイン、室名サイン、突出し・吊下げサイン、注意サイン、展示装飾他
- デジタルサイネージ、モニュメント、カーマーキング、大型インクジェット出力、イルミネーション



自立サイン

ポール看板・タワーサイン・シンボルサインなどの総称で
地中から基礎工事をして施工する看板です

車両や歩行者通行する通り沿いに設置することが多く、お店の認知度を上げ、お客様を誘導する役割を担います。また、企業や店舗、病院・医院などのシンボリックな看板としても使用されます。仕様は様々で、内照式（中から光るタイプ）や外照式（スポットライトで外から照らすタイプ）にも対応可能です。敷地の入口に設置する機会が多く、シンボルサインとして存在感があります。高さが4メートルを超えると工作物の確認申請、検査が必要になりますが、弊社ではそちらも一括して請け負うことが可能です。



ファサードサイン

昼夜の区別なく遠くからでもアピールでき
一目でわかる・存在感ある看板です

建物の正面や壁面に掲げられる看板で、主に入口の上に設置される最も代表的な看板で、広い面積で全面を魅せるサインは、お店の顔とも言える重要なデザインの一部です。素材や材質も種類があり、アルミやステンレス、亚克力、スチール仕様など多岐にわたります。インクジェットプリントなどのシンプルな平面看板から、切り文字看板のような立体看板もオリジナル作成が可能ですし、さらに夜間でも見えやすいようLED仕様（内照式・外照式）にすることもできます。

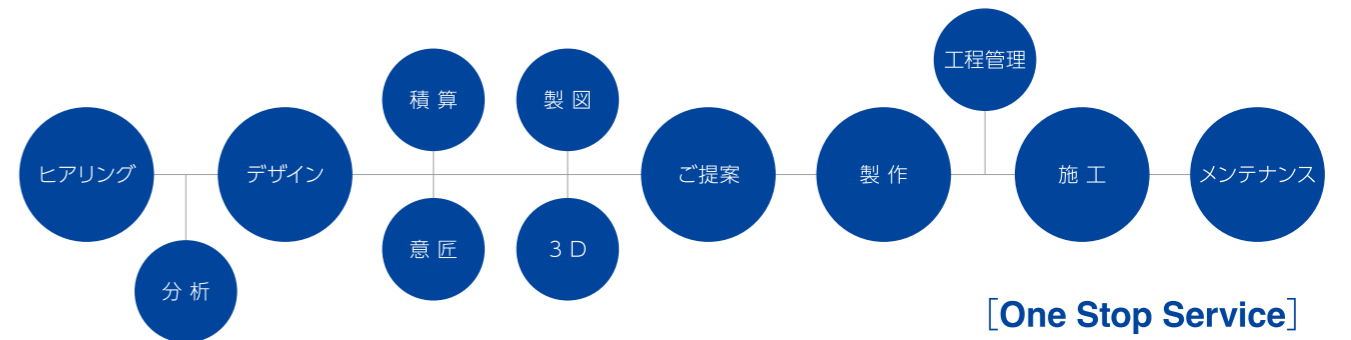


チャンネルサイン

厚みのある文字の事をさし「箱文字」や「立体文字」とも呼びます
夜間には昼間と違った表情が楽しめる看板です

その特徴は、平面にはない表現力。文字だけを壁面から浮き出すことから、視覚的に名称や伝えたい内容をより強く印象づけることができます。点灯する夜間での暗い場所だけでなく、日中の屋外や明るい場所でも文字が浮き出したチャンネル文字ならしっかり存在感を示すことができます。素材は金属（主にステンレス）や樹脂などが使われます。内側にLEDライトを仕込んで前面・側面・背面から発光させることができ、耐久性があるため長期的に使用することができます。高級感や存在感を醸し出すことのできる人気のサインです。

One Stop Service：企画デザインから製作施工、メンテナンスまで



ロードサイン(野建看板)

街路や路地、田畑などに設けて、通行人や乗客に
店舗や企業などをPR、案内、誘導するための看板です

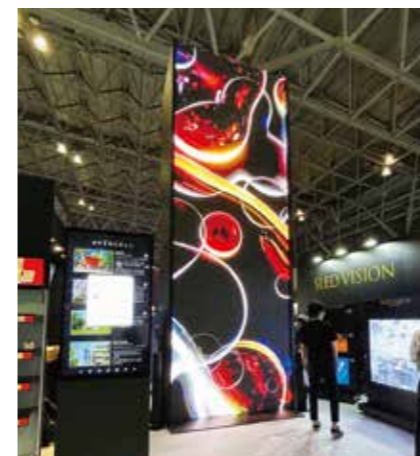
街路や路地、田畑などに設置されるロードサインは、主に車両・歩行者を対象とし、お店までへの誘導看板から、ブランド・商品紹介的な広告などに幅広く活用されています。継続的に看板を設置することで、信頼性とブランドイメージを高める効果があります。交通状況や歩行者の量などを十分に検討したうえで最適な設置場所に野建看板を設置することで集客アップが見込めます。弊社では屋外広告の現場調査から地主様との用地交渉、製作設置・申請・管理までを一環して行っており、クライアント様の広告展開のお手伝いをさせて頂いております。



施設内サイン

施設情報をわかりやすく伝える手段であると同時に
施設のイメージを印象付ける視覚的要素の看板です

設置される施設環境と調和する適切な色使い、そして、視認性・可読性に優れた機能的なデザインが求められます。壁面に切り文字を貼ることでサインとしての役割を持たせたり、階段を利用するお客様を誘導することもできます。サインデザインを考える際には、ユニバーサルデザインの考え方や多言語表記、ピクトグラムなどを取り入れることが必要な場合があります。素材や材質にも様々な種類があり、ステンレスなどの金属類、亚克力、カッティングシート、アイアン仕様など多岐にわたります。



デジタルサイネージ

ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信する
メディアの総称が「デジタルサイネージ」です

駅や店舗、施設、オフィスなどに、ディスプレイやプロジェクターなどの映像表示装置を設置して情報を発信するシステムです。また、近年では、単にサイネージと言ってデジタルサイネージのことを指す場面も増えてきました。駅や店舗での情報発信といえば、従来は紙のポスターや看板が一般的でしたが、デジタルサイネージは電子看板とも呼ばれるように、デジタル映像機器を用いることで、より多くの情報を、手軽に、タイムリーに発信できることから、近年大きな注目を集めているサインです。

看板の目的を常に意識しながら豊富な経験と知識で
お店や企業の『フェイス(顔)』となる看板から、集客効果を得られる広告看板まで
お客様のご要望に適した看板をご提案いたします

